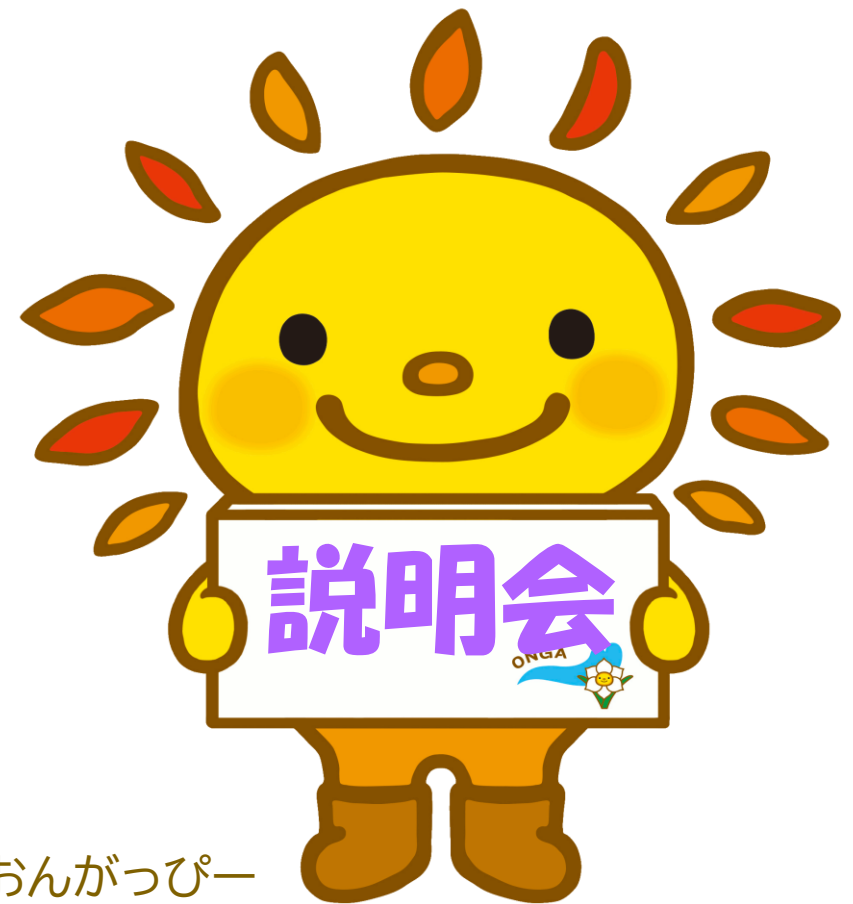


第8回
遠賀町
ビジネスプラン
コンテスト
～遠賀の暮らし、しごと、みらいへ！～



おんがっぴー

第8回遠賀町ビジネスプランコンテストとは。

＜趣旨＞

遠賀町内で将来起業を希望する方、もしくは起業を考える方が発案する、独創的で将来性のあるビジネスプランを実施に導くことで、新たな起業家の創出と遠賀町の活性化を図る。

＜コンテスト実施主体＞
遠賀町

<応募資格（対象者）>

次の各号をいずれも満たしていること。

(1) 中学生以上であること。（居住地は町内外を問わない。）

(2) 暴力団及び暴力団関係者でないこと。

※ グループでの応募もできる。

<募集内容>

- ・ 遠賀町の特産品や人、地域資源を活用したビジネスプラン
- ・ 遠賀町の地域課題解決につながるビジネスプラン
- ・ 遠賀町内で実現性のあるビジネスプラン

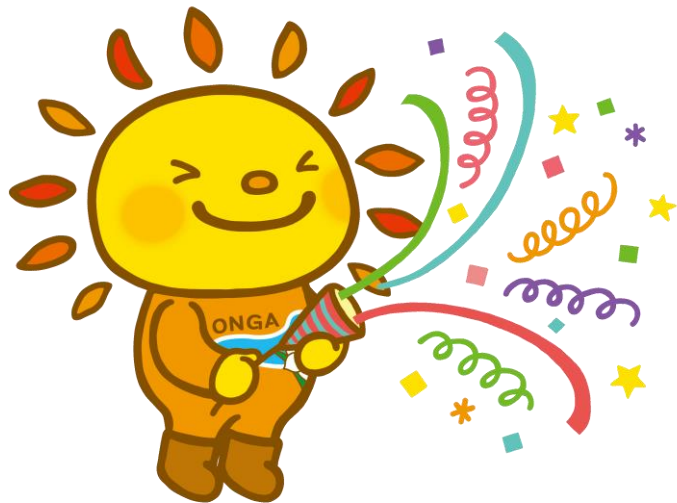
＜審査基準＞

1. **事業性**…資金面の目途はついているか、組織・体制の整備はできているか等
2. **革新性**…革新的な取り組みか、社会に対するインパクトを与えられるか等
3. **社会性**…社会的ニーズに合っているか、地域課題の解決につながるか等
4. **将来性**…将来にわたって成長・発展・継続が期待できるか、将来的に必要な事業か等
5. **実現性**…遠賀町での実現性があるか。
6. **遠賀町度**…遠賀町の地域資源を活用しているか、遠賀町の風土にあっているか等

第8回遠賀町ビジネスプランコンテストの賞

<賞>

- **グランプリ** 1名 副賞…商品券または賞品
- **遠賀企業賞** 7～8名 副賞…商品券または賞品



第8回遠賀町ビジネスプランコンテストの活用

- 1次審査（書類審査）通過者は、PIPIT起業コーディネーターと、2次審査（プレゼンテーション）に向けての**ブラッシュアップ**をすることができる。
- コンテストに参加することで、仲間づくりや支援者、協力者等とのネットワークづくりにも役立つ。
- 2次審査参加者は「**福岡よかところ起業支援金**」に応募することができる。
（補助額上限200万円・補助率50%以内）

ビジコンを活用しました



遠賀屋糀
（こめのはな）
金田 淳二さん

知ってもらうことが
事業の励みです

「遠賀産米粉のスイーツ専門店」で第4回ビジネスプランコンテストのグランプリを受賞しました。自分のテーマ「地産地消」をビジネスプランとして応募し、遠賀町の方に共感してもらえたことで、事業の励みになっています。「遠賀から世界へ」。世界に通じるものづくりと発信のため、気概と夢とロマンを持って進めています。

- 募集期間

令和5年7月14日（金）

～ 9月11日（月）午後5時必着

- 申込方法

PIPITホームページより申込書をダウンロードし、
必要事項を記入・入力の上、申込先へメールまたは
郵送で提出のこと。

<申込み・問い合わせ>

●事務局：**遠賀町起業支援施設 P I P I T**
受託団体 一般社団法人 SINKa (シンカ)

TEL：**080-8373-6504**

E-mail：**info@pipit-ongga.jp**

○PIPITホームページ <https://pipit-ongga.jp/>

これまでの遠賀町ビジネスプランコンテスト

第4回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

応募総数21件
第2次審査会(11月25日開催)
表彰式(1月16日開催)

今回もたくさんのご応募をいただきました。
第1次の書類審査、第2次のプレゼンテーション審査の結果、3組の受賞者が決定し、1月に行われた第29回「PR」交流会において、表彰式を行いました。
ここでは、受賞された方々のビジネスプランをご紹介します。



第4回 遠賀町ビジネスプラン コンテスト表彰式

特別賞
遠賀町長賞
関口 智子氏 S.O.S.メシメ

「遠賀町で困った時はお互い様！私ができること代行サービス」
「買物朝ご飯配達など、高齢者の方が困っていることを代行サービスとして提供するプラン」
「高齢者にとって面白く楽しい町になるような企画を創りたい」と今の代行メニューにとどまらず、ニーズと想いをマッチングさせて発展させていく。



第4回 遠賀町ビジネスプラン コンテスト表彰式

特別賞
輝く未来のビジネスプラン賞
中島 誠氏

「地域包括ケアシステム実現へ向け人材育成事業の創業」
「介護業界の慢性的な人材不足を解消し、需要が高まる職員の育成と誰もが介護の仕事に携われるような社会を目指すため、介護とITの基本的スキルの研修など、座学から実習まで、買った教育の「場」を提供し、就業機会をサポートするNPO法人を設立するプラン」

「遠賀産米粉のスイーツ専門店」
地元からお米の消費を拡大していくことで、減りつつある田んぼを守ろうという想いから、遠賀町産米「夢れんげ」と赤しそを使ったスイーツを、地元遠賀高校の生徒と連携し開発。乙女「ころ」というブランドで軒下販売からスタートしていくプラン。

第3回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

応募総数25件
第2次審査会(10月29日開催)
表彰式(1月9日開催)(第22回「PR」交流会)



第3回 遠賀町ビジネスプラン コンテスト表彰式

特別賞
遠賀町特産品ビジネスプラン賞
鈴木 里美さん

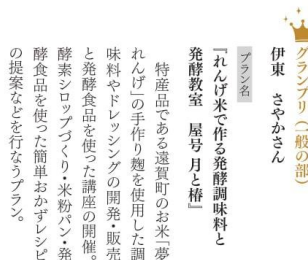
「遠賀ハーフプロジェクト」
「自身が持つハーフコーディネーターの資格や豊富な知識経験を活かし、日照時間の長い遠賀町内で小さなハーフガーデンを作り、さまざまな種類のハーフを栽培・収穫し、フレッシュハーフやハーフティなどの関連商品を生産、販売していくプラン」

特別賞
輝く未来のビジネスプラン賞
石橋 浩二さん

「Organic Foods Service」
遠賀町の食材を使った「Choppedサラダの移動販売」
野菜の摂取量不足を遠賀町から解決するビジネスプラン。遠賀町産の野菜の中から、主に規格外を用いたチoppedサラダを移動販売する。将来はフランチャイズ化して事業を拡大し、野菜の販売や法人飲食店向けのサービスも展開する。



第2次審査会の様子



第3回 遠賀町ビジネスプラン コンテスト表彰式

特別賞
遠賀町特産品を使った焼菓子(Ongaku)の製造販売」
遠賀町のお米「夢れんげ」や菜種油、赤しそ、ふきなどの遠賀町産の農産物等を焼き菓子に活用し、アレルギーにも対応した遠賀の特産品として製造販売していくプラン。「遠賀を食す」。



第2次審査会の様子

第2回 遠賀町ビジネスプラン・夢アイディアコンテスト

応募総数26件
第2次審査会(12月27日開催)
表彰式(1月20日開催)



第2回 遠賀町ビジネスプラン・夢アイディアコンテスト表彰式

特別賞
遠賀町産農産物を受賞する町長賞
有松 位さん 株式会社さくら

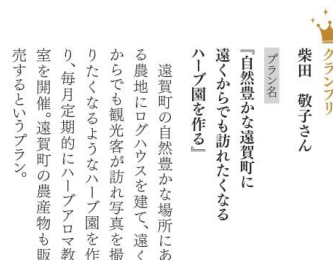
「遠賀川銘菓プロジェクト」
「米粉」使用の和菓子を製作、遠賀町駅周辺で販売するというプロジェクト。商品のテーマとして「遠賀の昔話をモチーフとする。また、通常の販売促進活動以外に、知名度を上げる戦略として遠賀町を舞台とした「ライトノベル」を出版するというプラン。

まだまだ元気アクティブシニア賞
徳王 昭子さん
柴田 雅子さん
柴田 ヤス子さん

「急な残業でも安心！「おたすけ！晩ごはん」」
「仕事や急な外出などで忙しく夕飯を作れない人たちのため、遠賀町内の飲食店と連携した夕食の予約型デリバリーサービスを行うというプラン」



第2次審査会の様子



第2回 遠賀町ビジネスプラン・夢アイディアコンテスト表彰式

特別賞
遠賀町産農産物を受賞する町長賞
中村 佐知子さん

「子育てママのちよごとビジネスプラン賞」
「まあ、おいしい！みんなの学校」
資格はないが料理が得意な一般のシニアが講師となって料理教室を展開する。材料は遠賀町産を主に活用するというプラン。



第2次審査会の様子

遠賀町商工会 質調交換会でのプレゼンテーション



cafe coba + 土曜日井出 まりこさん

これまでの遠賀町ビジネスプランコンテスト

第6回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

「こんなことができれば」。そんな思いをビジネスにするための第一歩は、ビジネスプランを作ることです。遠賀町の地域資源を活用したり地域課題解決につながったりするもの、そして実現性があるプランを募集するこのコンテストには、今年度は24件の応募があり、書類審査とプレゼンテーション審査の結果、各賞を決定しました。また、今回は「遠賀企業賞」として、遠賀町内の協賛企業団体7社の賞を決定しました。



👑 グランプリ

遠賀企業賞

- ・遠賀町商工会賞
- ・遠賀信用金庫賞
- ・日進化学株式会社賞

高山 友紀子さん

プラン名

「遠賀川駅前横丁プロジェクト」

「コロナ禍で閉店を余儀なくされた飲食店が、再起をかけて入居する「横丁」を遠賀川駅前商店街に作り、遠賀町とのコラボレーションとして各店1品は遠賀町の産物(米・フキ・菜種油など)を使った魅力あるメニューを創作。さらに、話題性を持たせるため、プロジェクトスタート時から、SNSやYouTubeで「横丁」をつくりあげる様子」を発信し、遠賀町に「わざわざ遊びに来る」人を増やしていくプラン。



2022 February
第8号
あなたのカナエルをカタチに

👑 第5回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

詳しくは...

今回もたくさんのご応募をいただいた中から、第1次の書類審査、第2次のプレゼンテーション審査の結果、いずれも遠賀町内の方が受賞者に決定し、2021年1月に行われた第34回 PLET交流会において表彰式を行いました。

👑 遠賀町長賞 高槻和広氏

プラン名

「遠賀町内の空き家を活用したい人に繋ぐ「空き家プロモーション」プロジェクト」

地元でも空き家が増加。そこで空き家の調査や点検、必要な修繕等を行い、空き家を使いたい人や、各専門家に繋いでいくことで地域の活性化に繋げるプラン。



👑 企業・SINKA賞 川崎恵子氏

プラン名

「おなが町あいす」

遠賀町の農産物(トマト、レンコン等)を使ってアイスを製造販売。規格外品を使って製造することで、食品ロスを減らせるというプラン。限定品の開発、食べ方の提案、ふるさと納税、直売所等での販売も計画。



👑 準グランプリ

遠賀企業賞

- ・株式会社福田工務店賞
- 安藤 隆之さん
- 姫野 律子さん

プラン名

「高齢者アサヒバスを基盤に食宿泊子供自習室で医介スタッフを支援するプロジェクト」社会の要請に応えるプロジェクト」

高齢者アサヒバス立ち上げ時に、建物内に飲食や宿泊のスペースを設け、シフト制で昼夜問わず勤務する医療介護等の従事者が、必要な時だけ利用できる宿泊所、手軽に摂れる食事提供、子どもの時預かりなどの支援事業を合体した複合事業に発展させるプラン。

👑 輝く未来のビジネスプラン賞

遠賀企業賞

- ・遠賀屋靴こめのな賞
- 沢津橋 紀洋さん

プラン名

「大学生と地域が繋がる、空き家を活用した集住型プログラム ミング寺子屋の立ち上げ」

空き家を活用した自然豊かな環境で学生用シェアハウスを作り、そこに住む大学生を講師に「大学生から教わる小学生向けプログラムミング寺子屋」を開設する。地域に大学生が暮らすことで活気が生まれ、さらに地域のICT教育水準も向上するプラン。



※遠賀企業賞は2Pにもご紹介しています。

第6回

遠賀町ビジネスプランコンテスト

遠賀企業賞

- ・株式会社西部警備保障賞
- 芦田 柚月さん
- 牧 洋平さん

プラン名

「遠菓子大作戦 米粉洋菓子で遠賀町の魅力を伝えよう」



遠賀町のブランド米「夢れんげ」の米粉を製造し、町内の洋菓子店に材料として販売。共通口ゴやバッグのデザインも提供して、遠賀町ブランドを高めるプラン。

・株式会社ハセガワ食綜賞

牛濱 佑紀さん

プラン名

「ご年配の方の「コミュニケーションや癒しの場」」



角打ちでお酒を提供することで、外出や人と会うことが減っているお年寄りを中心に、「コミュニケーションや癒しの場を作り、遠賀町を活性化していくプラン」。



詳しくは...

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト

《 遠賀企業賞 》

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

株式会社西部警備保障賞

- ◆ 高齢者や生活困窮者の働く場づくりにつながるプラン

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

日進化学株式会社賞

- ◆ made in 遠賀町のビジネスプラン
- ◆ 将来の子どもたちのためのビジネスプラン

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

遠賀町商工会賞

- ◆ 事業性・将来性・実現性

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

遠賀町空き家活用ネットワーク賞

- ◆ 空き家の活用促進や空き家の発生抑止に繋がるプラン、又はその可能性のあるプラン



第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

株式会社福田工務店賞

- ◆ 遠賀に人を集められるようなビジネスプラン

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

遠賀屋糶(こめのはな)賞

- ◆ 地産地消や食の安全安心に結びつくプラン
- ◆ 遠賀から世界への発信が期待できるプラン

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

ハセガワ食綜SDGs賞

- ◆ SDGsの尊重
(特に)フードロスの削減につながるプラン

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト
遠賀企業賞 審査基準

遠賀信用金庫賞

- ◆ 社会性・遠賀町度・実現性

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト

第7回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

遠賀町の特産品や地域資源を活用し、遠賀町の地域課題解決につながるビジネスプランを募集し、今年度は19件の応募がありました。

審査の結果、グランプリをはじめとする各賞が決定し、11月24日に、表彰式と受賞者プレゼンテーションを行いました。



🏆 **グランプリ**

遠賀企業賞

・遠賀屋糍(こめのはな)賞

岡崎 慶子さん

プラン名

「遠賀の米・酵素玄米で持続可能な遠賀ライフの実現に向けて」

遠賀町産の玄米を、食物繊維・ビタミン・ミネラル・アミノ酸豊富な「酵素玄米」に加工し、手軽においしく食べられるおむすびと量り売りの事業を展開。店舗を健康寿命延伸と環境に配慮した取り組みの発信源にし、健康で楽しく持続可能な遠賀ライフを送れる健康活動プロジェクトを開始するプラン。



👑 **準グランプリ**

川口 晋平さん

プラン名

「日本全国の高齢者や身体の不自由な方達の生活を『より楽しく』『より豊か』にするためにSELF HELP TOOL(自助具を広めた。)」

片手のみの生活を送る片麻痺の方のために「色彩やデザイン性が優れた、片手で細かな生活動作が可能になる自助具を開発。それを使用することによって自分で出来ることが増え、人間としての自信を取り戻してもらい、生活を「より楽しく」「より便利に」「よりスムーズに」過ごしてもらおうというプラン。



👑 **輝く未来のビジネスプラン賞**

遠賀企業賞

・株式会社西部警備保障賞

・日進化学株式会社賞

・株式会社ハセガワ食糧SDGs賞

内丸 亮一さん

プラン名

「フードロスを活用したナマズ養殖とアクアポニックスによる農産物生産」

廃棄野菜や残菜などで「コオロギ」を養殖↓それを餌にナマズを養殖↓その飼育水で遠賀町の特産品でもある「フキ」を生産することによって、フードロスの削減効果、サステナブルな養殖で「ナマズ」加工品のブランド化や「フキ」加工品をSDGsと結び付けて新たな商品化を目指すプラン。

※遠賀企業賞は2Pでもご紹介しています。

第7回 遠賀町ビジネスプランコンテスト

遠賀企業賞



小島 香名子さん

プラン名

「遠賀を内側から元気に！住む人・働く人が元氣な町！大人が元氣な町は子供も元氣!!」

「結びCafe~lotus」で、遠賀郡のお米、農家から仕入れる規格外の野菜、季節に特化した料理の提供と食材を販売し、遠賀町の魅力を知ってもらい町全体の活性化に繋げるプラン。



吉武 麻子さん

プラン名

「『おんがみらいテラスすくすくフロア』にKIDS「ンビ」を作ろう！遠賀での子育てをもっと楽しく、もっと身軽に！」

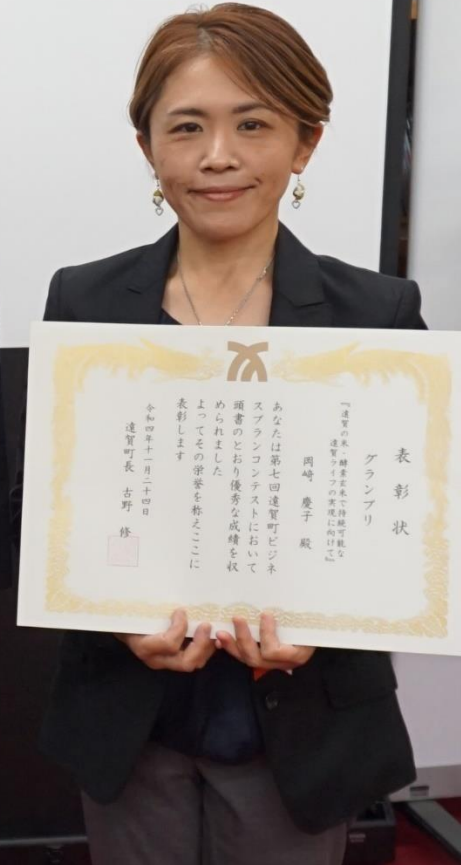
「KIDS「ンビ」」で子育てにすぐ必要なものや子育て世帯に届けたい商品等の販売のほか、消費者とともに遠賀町産の食品やメニューを商品化して地域循環を生み出すプラン。



詳しくは…

第7回遠賀町ビジネスプランコンテスト

第七回
遠賀町ビジネスプラン
コンテスト表彰式



第8回

遠賀町

ビジネスプラン

コンテスト

～遠賀のくらし、しごと、みらいへ！～

ご応募をお待ちしています！



おんがっぴー